やさいレポート（令和８年 11 月号）

きゅうり

発行日：令和８年 11 月 10 日

１．卸売価格の動向

○519 円/kg（11 月 7 日）

- 平年比：116%

○11 月の価格見通し

前半はやや平年を上回って、後半は平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

２．小売価格の動向

○801 円/kg

（10 月 9 日全国平均）

- 前月比：114%、平年比：119%
- 東京：297 円（3 本）
- 大阪：96 円（1 本）

○特売店舗数／調査店舗数

- 東京：3/20（前月 7/20）
- 大阪：3/10（前月 4/10）

（機構調べ）

３．家計消費動向

○201 g/人（9 月全国平均）

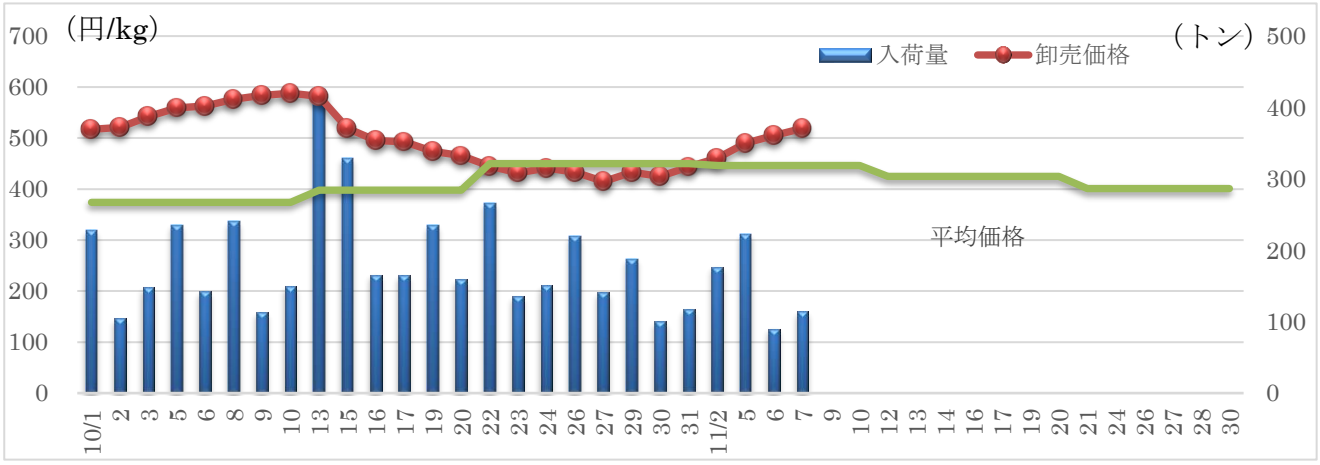
- 前月比：85%
- 前年同月比：88%

○2,283 g/人（2025 年間）

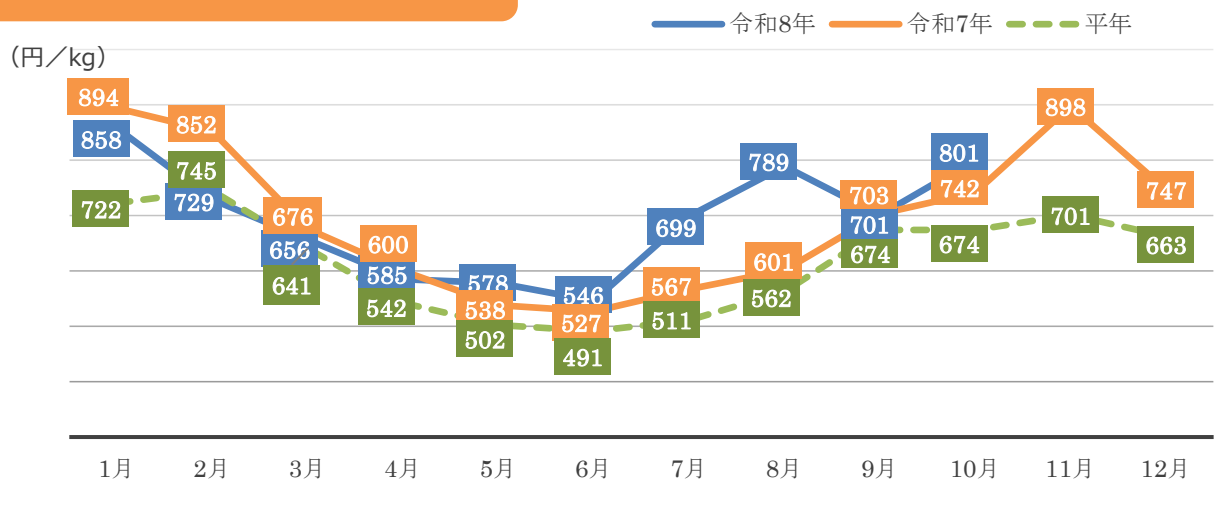
- 前年比：101%

（総務省統計局家計調査）

４．きゅうりの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



５．きゅうりの小売価格の推移



6．主産地の生育･出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
宮城県みやぎ仙南（9/15）	減少	やや不良	平年並み	平年並み
秋田県JAかづの（9/8）	前年並み	やや不良	遅い	遅い
群馬県伊勢崎市（10/19）	前年並み	やや良	平年並み	平年並み
高知県西部（10/22）	減少	やや良	平年並み	遅い
宮崎県宮崎中央（10/22）	前年並み	平年並み	平年並み	－

※特記ない場合は平年比。（ ）内は調査日。　（機構調べ）



群馬県伊勢崎市：圃場の様子

7．向こう１ヶ月の気象情報（11/7～12/4）

	週別の天候
11/7～11/13	北日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
11/14～11/20	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
11/21～12/4	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

		平均気温（１か月）	降水量（１か月）	日照時間（１か月）
北日本	日本海側	低30 並50 高20% **平年並**の見込み	少30 並40 多30% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% **高い**見込み	少30 並40 多30% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
西日本	日本海側	低10 並40 高50% **高い**見込み	少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% **平年並か多い**見込み	少40 並40 多20% **平年並か少ない**見込み

（気象庁１カ月予報）

8．輸入動向（生鮮きゅうり及びガーキン）

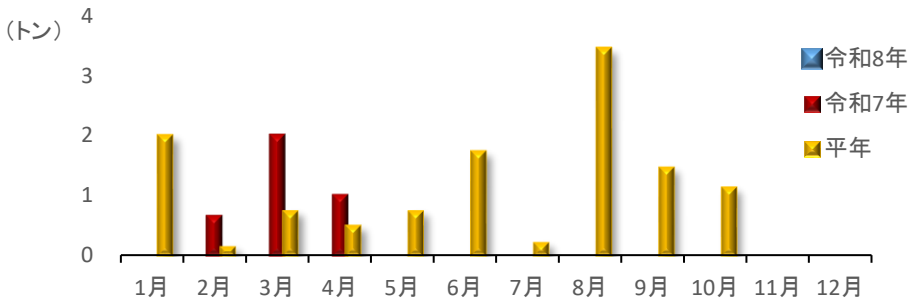
○ 0トン（9月輸入量）

➢ 前年同月比：-

○輸入先国ベスト３

輸入実績なし

（財務省貿易統計）



9．一口メモ

10 月は、群馬県･埼玉県･福島県産主体の入荷となった。上旬は東北産が日照不足等から減少し、価格は平年を５割上回った。中旬以降は天候が回復して埼玉県･群馬県産が増加し、価格は下げ基調となり下旬には平年をわずかに下回った。

11 月は、関東産中心の出荷から宮崎県産中心の出荷に切り替わる。関東産は９月の長雨により樹勢の低下が見られ、出荷数量が減少している。宮崎県産の生育は概ね順調。前半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年をやや上回り、後半は出荷数量･価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。
ベジ探：
https://vegetan.alic.go.jp/

農畜産業振興機構
野菜業務部　管理業務課